

学校名	富士見市立富士見台中学校
所在地	富士見市諏訪2-8-1
電話	049-251-0473

1 本校の概要

本校は、埼玉県南西部にあり、住宅地の中に位置している。1960年（昭和35年）に開校。富士見市内の中学校で最も長い歴史をもつ。1991年（平成3年）には、埼玉景観賞（教育環境賞）を受賞。恵まれた教育環境の中で、日々の教育活動を行う。学校教育目標は、「心豊かで『自分の良さ』を伸ばす生徒の育成 一向学・協働・健康一」である。

2 本校の実践

（1）実践の視点

学校図書館の環境の工夫

（2）実践の概要

変化の激しい社会の中で、学校は、学力低下・いじめ・不登校など多くの課題に直面している。そうした中で、「生きる力」を育むことは最重要課題であり、この課題解決のために、学校図書館が担う役割は非常に大きいと思われる。また、学校図書館がその機能の活用を図り、生徒の主体的・意欲的な学習活動や読書活動を充実させることによって、「生きる力」は育まれると考える。「人が環境をつくり環境が人を育てる」と言われるように、生徒にとって学習・生活両面において快適な環境は大切である。以下に具体的な取組について述べる。

ア 学校図書館に入りやすい環境づくり

- ・入口付近に「おすすめ本コーナー」、中央に「新しい本コーナー」を配置。入口からのスムーズな動線と明るい雰囲気、来館者を増やす試みを行った。
- ・「今月のおすすめ」を書いた“Welcome Board”やおすすめ本には手書きの短いコメントをつけ、表紙を見せて展示した。



イ 生徒の興味・関心をひく環境づくり

- ・映像化された本や話題の本など、生徒が興味・関心をひく本を購入した。
- ・生徒からのリクエストを定期的に募る。リクエストは年間約70冊。生徒たちは、「自分がリクエストした本」を楽しみに待っている。



ウ 学習につなげる環境づくり

- ・総合学習コーナーにポプラディア等の百科事典を配架した。調べ学習に百科事典を利用する生徒が増えた。
- ・学習資料は、最新情報記載のものを揃え、授業支援をする。



3 成果と今後の課題

（1）学校図書館利用者の増加

- ・上記のような取組を継続して行った結果、利用者数が年々増加した。

H23年度	2539名
H24年度	2767名
H25年度	予測：2989名（H26/1/28現在2491名）

（2）更なる利用者の拡大

- ・読書に親しんでもらうため、「国語教科書で紹介している本」を、各学年の廊下に「ミニミニ学校図書館」コーナーとして設置する予定である。